

**プレスリリース****札幌商工会議所 定期景気調査（11月）の結果について**

札幌商工会議所では、会員企業を対象に毎月各業界の業況等を調査し、景況把握に活用しております。

この度、2024年11月分調査を取りまとめましたので、ご報告いたします。

**<調査概要>**

○調査内容：【毎月調査】 ①11月の業況と先行き見通し

【付帯調査】 ②設備投資の動向

③サイバーセキュリティ対策の取組

④デジタル化の状況

※日本商工会議所 LOBO 調査と同様

○調査期間：2024年11月7日(木)～2024年11月25日(月)

○調査対象：札幌商工会議所会員企業のうち526社

○有効回答数：219社

○調査結果概要：

①11月の業況と先行き見通し：全産業合計の業況DIは▲9.1と、前月から4.3ポイント改善。先行き見通しDIは▲10.5と悪化の見込み。

②2024年度の設備投資の動向は、「設備投資を実施予定」企業は49.6%と、前回調査と比較し0.4ポイント増加し、依然として高水準を維持している。

③多くの中小企業でサイバーセキュリティ対策は基本的な取組にとどまっている現状が伺えた。

④デジタル化の状況として、「デジタルツールを利用して業務に取り組んでいる状態」が61.0%となるなど、多くの企業でデジタル化への着手が進んでいる。一方で「デジタル化によるビジネスモデルの変革等に取り組んでいる状態」は5.5%と少数であった。

※調査結果詳細は別添資料をご参照ください。

札幌商工会議所定期景気調査（過去の当所調査結果をご覧ください）

[https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/10/details/post\\_51.html](https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/10/details/post_51.html)



日本商工会議所 LOBO 調査 <https://cci-lobo.jcci.or.jp/>

日本商工会議所では、各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」（採用、設備投資、賃金動向等）を全国ベースで毎月調査する「商工会議所 LOBO 調査」を実施し、その結果を集計・公表しています。



※LOBOとは「CCI (CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY) –QUICK SURVEY SYSTEM OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK」（商工会議所早期景気観測）からとった略称。

**<本件担当>**

札幌商工会議所 総合企画部 企画課（担当：佐藤）

TEL：011-231-1360 E-mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp